

# 復興グルメ味くらべ

宮城・南三陸 岡山の学生ら協力  
AMD A企画



復興商店街の名物を目当てに行列ができた復興  
グルメF-1大会＝26日、宮城県南三陸町

東日本大震災の被災地間  
交流事業として国際医療ボ  
ランティアAMD A（岡山  
市）が企画し、被災地の復  
興商店街が参加する「復興  
グルメF-1大会」が26日、  
宮城県南三陸町の志津川仮  
設魚市場であった。岩手、  
宮城、福島3県の15団体が  
復興めしの味を競った。

岩手県陸前高田市のサケ  
を使った酒かすうどん、南  
三陸町のメカブうどん、福  
島県相馬市の穴子唐揚げな  
どが1皿400円で提供さ  
れた。投票の結果、福島県  
南相馬市のタコやツブ貝入

りの「りゅうぐう蛸焼」が  
優勝した。

大会は2013年から被  
災地を巡回して開催され、  
14回目。初回から出場する  
気仙沼復興商店街（宮城県）  
の坂本正人さん（59）は「大  
会を通じて他の商店街とつ  
ながりができた。多くが仮  
設から常設に移る段階で、  
情報交換に役立っている」  
と意義を話した。

この日は、AMD Aが出  
したボランティアバスで岡  
山県から駆け付けた学生ら  
約40人が販売を補助した。  
AMD Aの竹谷和子さん

（67）は「医食同源と言われ  
る。これからも食を通して  
被災地を元気にしていきたい  
」と語った。

（河北新報）